



こんにちは！少しずつ春めいてきましたね。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。
暖くなるのは嬉しいですね。花粉さえ飛んでいなければもっと嬉しいのですが…。
今回の会報は、つい先日花粉症デビューした(!?)北田と、3年前に花粉症デビューした
山本でお送りいたします♪

- 目次
1. 前回例会報告
 2. 伝言板
 3. 次回例会案内(次回は4/6。東山いきいき市民活動センターで行います。桜も見頃!?)
 4. 編集後記

1.第8回例会報告

「京都音楽療法研究会」 第8回例会

○日時:2013年11月24日(日) 13:30~16:30

○会計報告

参加費:130円×7名=910円

集金合計 910円

経費:場所代 800円

コピー代 80円

経費合計 880円

残金30円は、次回以降に繰り越させていただきます。

○場所:東山いきいき市民活動センター 集会室

○参加人数:7名

○内容:“音楽に触れることによる『心の変化』を感じる実験” 友寄広さん

○感想

《参加者の皆さんより》

~Y.Cさん~

とっても楽しい時間でした！実は、「最初の一音を出す役」を頼まれていたので、どうなることやら…、と少し心配していた即興の時間でした。が、いざ音を出してみると、いろんな音が重なって、一人では決してたどり着けない、「今ここ」だけの音楽が生まれ…。「まだまだやりたい。もっと違う楽器でやってみたい」と、どんどん楽しくなってきました。友寄さんのすばらしいプランのおかげで、そんな楽しさに加えて、普段の自分とは一段深いところで向き合う、大事なひとときも過ごすことができました。

私の場合は、即興をする前はガチガチだった頭に、即興後には、なんとも不思議なゆとりの気持ち、「遊び」の部分のようなものが生まれていました。

最後のミニライブも素敵でしたよ♪ 続編、期待しています！

～K.Hさん～

友寄さん、お一人で仕切っちゃべって歌って！と本当にお疲れ様でした。盛りだくさんな内容に加えて、一人一人が考える時間も設けていただいたり、今までとはまた違ったおもしろい例会だったと思います。

その中で軽い即興のコーナーがあったのですが、家帰ったらセッションしてみたいにむっちゃ疲れてて…。初対面の方との即興は遊びといえど神経使うんやな～と思いました(笑)。新しい発見でした。。。

《友寄さんより》

今回は発表者として参加させて頂きました。晩秋の行楽日和なので皆さん御忙しく、いつものメンバーから数人の参加者だろうと自分なりに予想していました。ところが、お手伝いをお願いしていたKさんとYさん以外は初参加者ばかりで多少うろたえました(笑)KさんとYさんに先導して頂いた即興演奏は大満足なものでしたが、私の朗読やミニライブは、なかなか納得できるものではありませんでした。とはいえ、数日経ったいま思える事があります。もし、参加者が顔馴染みのいつものメンバーの方々ばかりだったら、多少わたしが行き詰まっても面白くなるようフォローしてくれていたでしょう。しかし、今回は初参加者ばかりであったということは、もし今後に思い描いているライフワークに本気で携わるとしたら、何処へ行っても初顔合わせなのです。つまり、さっそく疑似体験ができたのですよね！ということで、非常に貴重な体験をさせて頂いたということです。今回発表の切っ掛けを頂いた北田さんには本当に感謝です。そして初参加された方々には、これに懲りず(笑)今後も例会に参加されることをお願い致しますね。勿論、今までの会員の皆さんもですよ！！

2.伝言板

《事例研究ゼミのお知らせ》

音楽療法を実践しているの経過や困っていることなどを、事例の発表者とその場に参加する人で意見を出し合い”共に”音楽療法に向き合う時間を共有するゼミです。

随時、発表者・参加者ともに募集しております。ぜひ、あなたのお話をお聞かせください。

■コーディネーター／水上恵美先生(京都音楽院講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

■日程／平成26年3月16日 10:30～12:30

■会場／京都音楽院

■参加費:(1回)2,200円(税込)

■申込み／京都音楽院まで。電話、Eメールにて。

TEL:075-211-4556

E-mail: ongakuin@jeugia.co.jp

3.次回例会

○日時:2014年4月6日(日) 13:30~16:30頃 ※受付13:10~

○話題提供者:1.北田朋子

2.友寄広さん(北田司会予定)

○内容: 1.きただのザルツブルク体験報告~オルフ研究所ってどんなとこ(仮)

2.“理想の音楽療法”

1.《北田朋子より》

3月22日から31日まで、オーストリアのザルツブルクに行くことになりました。ザルツブルクは、モーツァルトの生家(たしか)があったり、映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台だったり、ザルツブルク音楽祭が開催されていたりと音楽の街ですね。そこに「オルフ研究所」というのがあり、そこから、京都音楽院に毎年夏、菅田真理先生とデイトマー・エダー先生をおよびしていたのでした。で、今回、そこでのクラスを受講したり出来るとのことで、行きます(まだ今いち詳細不明なのですが…)。どんな体験をしてくるかがわからないので、話したいことがあれば話す、皆さんが聞きたいことがあれば話すということでも良いでしょうか…。ゆるくてすみません。

2. 友寄さんからいただいたアイデアです。友寄さんは当日来れるか不明なので、北田が司会させていただくかもしれません。

《友寄広さんより》

「業界の現実とは別として、こんなことができたとか、こんなふうになってほしいな~なんてことを、参加者が発表していくのはどうでしょう？」

ほんでもって皆でそれぞれに対して考えたりアドバイスしたりして、音楽療法の理想系を構築してみるのは…

この前、研究会のHPにレスリー・バンドの本のこと載せましたよね。その後、『音楽療法の基礎』(村井靖児著音楽之友社)を借りて読んだんですわ。これも20年ほど前の本ですよ。これを読むと、どれだけ音楽療法が世間に認知されていくのだろうという期待感が溢れていた時代だったように感じました。

しかし今は何故、沈滞しているのでしょうか？ 専門家でない私にはそんな難しいことは分かるわけないので、理想の音楽療法の将来を考える方が面白いと思ったしだいです。」

【当日までに…】

「参加者が発表!」なんて書くと、出席者が居なくなりそうなのですが(笑)、この機会に考えてみられるのもいいのではないのでしょうか。自ずと自分の価値観や臨床観などが明らかになるかも。

で、その「なんとなく考えたこと」をお持ちください。

○申込:4/2(水)までにメール(研究会宛。下記参照。) orハガキ(畑陽子様宛)にて。

○参加費:場所代(800円)・資料コピー代を、参加者で割ります(大体の金額で)。

小銭を用意していただけると助かります。

○場所:東山いきいき市民活動センター 2階 集会室

★東山いきいき市民活動センター★

〒605-0018

京都市東山区花見小路通古門前上る巽町450番地

(花見小路通古門前上る東入る南側。保育所と公園の向かい側)

■最寄駅・バス停■

各駅、停留所より徒歩5～7分です。

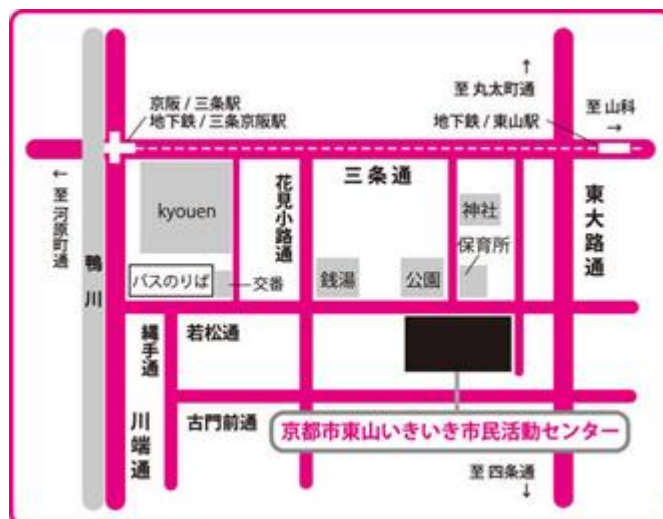
【京都市営地下鉄東西線】三条京阪・東山

【京阪本線】三条

【京都市バス】

5,12,46,100,201,202,203,206系統 … 東山三条

5,10,11,12,59系統 … 三条京阪前



4. 編集後記～下関だより～

みなさま、(いつものごとく) お久しぶりです。編集後記は北田です。

私事ですが、先日無事に修士論文を提出、発表いたしました。タイトルは「施設入居高齢者のためのグループ『音楽とおしゃべりの会』の探索的研究～パーソンセンタード・アプローチの視点から」です。京都でのフィールド(つまりは音楽療法分野)と下関で学んでいること(つまり臨床心理学…の中のパーソンセンタード・アプローチという視点)を合体させたものになりました。「なりました」というか「しようとした」という方が正しいかもしれません。書いていくことは、なかなか苦しい作業でもありました。私の指導教員(村山正治先生)は、「主観が大事」「自分が経験したことを丁寧に描きなさい」と何度も何度もおっしゃるのですが、「そんなに大したことはしていないし…」という思考がすぐに入ってきてそれと格闘する…という体験でした。終えた今、それを自分がすることによって、自分の考えや価値観を大切にしながら、相手のことを大切にしようとしている人たち(音楽療法などに)、**「それ、大したことやで!」**と言えるような足がかりとなれば良いなあということを思ったりしています。

もう一つ、先日、日本音楽療法学会近畿支部の大会で、石村真紀先生の講習会の端っこに顔をだし、ラウンドテーブルで石村先生や後藤浩子先生とかと一緒に話す…ということをやってきました。それで思ったのは、自分のやったことや考えていることをもう少し伝えられるようになりたいなあということでした。何らかの形であれば、もしかしたら言葉ではなくてもいいのかもしれないのですが、そして、これまた修論後の感想のように「そんなに大したことはしていないし…」と誤ってしまいがちながら話していたのですが、後から色々な人と話していて思ったのは、その時の「想い」を丁寧に語ることによって、聴いている人も自分のことについて丁寧に考えたり出来る機会となるのかもしれないということでした。

ああ、つまり、私の当面の課題は、自分にも他人にも「それ、大したことやで!」と言えるように進むことなのかもしれません。

長文の編集後記になりました。まずはここで練習させていただきました。

「あなたのしていること(もしくはしていないこと)も大したことですよ!!」

発行: 京都音楽療法研究会

事務局 北田朋子

編集協力 山本知香

連絡先: Eメールアドレス kyotomt.k@gmail.com

ホームページ: <http://kyoto-mt-kengkai-1998.jimdo.com/>

※携帯の方も見られます(おそらくブログのみなのですが…)